

広報

# ただみ

3

2018 月号

No. 574

平成30年3月10日



## 今月の表紙

今月の表紙は、交流を進める新潟県三条市から「第46回只見ふるさとの雪まつり」に初参加した、三條太鼓・三小相承会の皆さんです。

金物などで盛んな三条市の特色を表現した「三条金物太鼓」では、金物を叩く音と太鼓の音が重なった、独創的な力強い演奏が披露されました。冬の只見町で三条市との交流が深められました。（関連記事：P2～7）

## <特集>

- 第46回只見ふるさとの雪まつり…………… 2～7
- 雪まつりを支える町内の技術者たち…………… 8～13
- あなたの大切な人を救うために…………… 14～15
- 第56回只見町民スキー大会…………… 16～17
- 《News&flash》…………… 18～19
- 《町の話》…………… 20～21



部 「戊辰150周年」をテーマに開催

# 第1部 第46回只見見ふるさとの雪まつり

只見町の冬の一大イベントである「第46回只見ふるさとの雪まつり」が2月10～11日（9日前夜祭）にJR只見駅前広場で盛大に開催され、県内外から延べ2万3千人が来場しました。

今年「戊辰150周年」をテーマに開催し、「鶴ヶ城」をモチーフにした高さ12m、幅30mの迫力の大雪像がメイン雪像として制作されました。

9日の前夜祭から大雪像のライトアップが行われ、暗闇の

中に浮かび上がる幻想的な

「鶴ヶ城」が姿を現しました。

「鶴ヶ城」の頂上には見事なしゃちほこが飾られ、その完成度の高い大雪像は、訪れた人々を魅了しました。

本号の特集では、第1部に「戊辰150周年」をテーマに開催された雪まつり当日の模様と、第2部に雪まつりの会場制作の裏側について皆さまにご紹介いたします。





▲ライトアップされた見事な「鶴ヶ城」

## 開会式

1、雪まつり入場門を制作した電源開発(株)の吉村所長に感謝状を贈る実行委員会長の菅家町長 2、多くの来場者で賑わった福餅まき 3、福餅まきを行う雪むすめの飯島小百合さん(左)と渡部香織さん(右)



1



2



3

## 戊辰150周年記念企画

4、剣舞を披露した長岡市の前田劔豪会の皆さん 5、歴史講座が行われた「曲り家」のかまくら 6、「只見の戊辰」歴史講座で河井継之助に扮して説明する目黒信さん 7、「蒼龍追慕の歌」を披露する只見つくし会の皆さん



5



6



4



7

— 戊辰150周年企画 —  
今回の雪まつりは、「戊辰150周年」にちなんだ様々な記念企画が行われました。

ステージでは、新潟県長岡市の前田劔豪会の皆さまによる「ああ英傑、河井継之助」や会津藩士「白虎隊」など全5演目の剣舞が披露され、続いて只見つくし会の皆さまが、只見町に伝わる河井継之助の遺徳を偲んだ「蒼龍追慕の歌」に合わせた踊りを披露し、会場からは大きな拍手が贈られていました。

伝統的家屋「曲り家」をモチーフにしたかまくらでは「只見の戊辰語りべ」歴史講座が2日間で4回開かれました。講師に只見町河井継之助記念館ボランティアアガイドの目黒信さんを迎え、戊辰に深くかかわった長岡藩士・河井継之助や八十里越などの只見の戊辰について説明されました。

ソプラニスタ岡本知高さんのステージでは戊辰150周年にちなみ、テレビドラマ「白虎隊」の主題歌「愛しき日々」が披露

## 岡本知高オンステージ&お笑いライブ

8、素晴らしい歌声を披露した岡本知高さんのステージ  
9、「なんでだろう〜♪」で盛り上がったテツ&トモさんお笑いライブ  
10、歌謡曲やポップスなどのものをまねを披露した  
二代目jbs



岡本知高さん 8



テツandトモ 9



二代目jbs 10



あっけらかん 11



mai.&Daiki. 12



GABEZ 13

## 盛り上がったステージイベント

11、雪まつり参加6回目のあっけらかんマジック漫才  
12、町ゆかりの歌手mai(マイ)さんとロックシンガーDaiki(ダイキ)さんのステージ  
13、六角精児バンド「只見線のうた」に合わせ感動のダンスを披露したGABEZ

され、その圧巻の歌声で会場は感動に一つなりました。

このように、今回の雪まつりでは「只見の戌辰」を様々な催しにより、訪れた人々に発信しました。

### 多彩なステージイベントや

### 賑やかなゆきんこ市

そのほか、大雪像ステージでは、テツandトモさんのお笑いライブや只見町ゆかりの歌手mai(マイ)さんなどによるステージショー、郷土芸能発表など多彩な催しが行われました。

会場内では、町内小中高生や団体などが制作した雪像が来場者を出迎え、そして「ゆきんこ市」では、町内出店者の方々による多彩な郷土料理などが並び、多くの来場者で賑わいました。夜には連日火花が打ち上げられ、夜空を彩りました。

また、只見スキー場や只見振興センターなどの他会場でもスノーモービル体験や只見音研歌謡ショーなどが行われ、町全体で雪まつりを盛り上げました。



## 雪まつり写真館

①大雪の中、力強い太鼓演奏を披露した天領只見仙嶽太鼓 ②厄払いの儀 ③梁取太々神楽の獅子に嘸まれる来場者 ④雪中大神輿 ⑤町内高校生の「アコースティックライブ」・渡部美依さん(高校1年) ⑥同じく大竹涼華さん(高校2年生) ⑦「カラオケ大会」で歌や踊りを披露した只見保育所児童の皆さん ⑧小林早乙女保存会の「小林神楽」 ⑨踊りの会の連合チームで披露した総踊り「只見音頭」 ⑩「遠く遠く」などを披露したコーラス・フルールの皆さん ⑪厄男による「おんべ」の点火と「花火」 ⑫新潟県三条市・「本成寺鬼踊り」を披露した本成寺鬼踊り奉賛会の皆さん





▲雪まつりのフィナーレを飾った祈願花火大会

雪まつり特集・第2部

# 雪まつりを支える町内の技術者たち



さとの雪まつり

▲雪まつり会場の大雪像「鶴ヶ城」を制作した大正工業株の皆さんと町内の大工・左官職人の皆さん





▲毎日、会場内ハウスで打合せを行い小沼さん(中央)からその日の作業について指示を受けるオペレーターと事務局の皆さん



上/1月17日、盤づくりを終えた会場  
下/2月9日、会場が完成した雪まつり前日の様子

「表1」会場制作の大まかな流れ

工程・担当	作業期間	1/10	2/1	2/9	期 間 (約)
会場の盤づくり/町オペレーター		←→			1週間
雪運搬/町内建設会社など		←→			1週間
大雪像制作/大正工業㈱		←→			1ヶ月
電気・照明の設置/㈱本多電気工事店		←→			1ヶ月
入場門制作/電源開発㈱		←→			10日間
小間の設置/美馬建設㈱		←→			1週間
会場内外雪像制作/町内の小中高校・企業・団体など		←→			1週間



▲この他、町オペレーターには雪運搬の場所づくりや来場者用の駐車場づくりなど多くの作業があります

▲多くの来場者を迎えるために、会場内外の整備を進める関係者

たくさんさんの工程を経て  
会場がつくられる

只見ふるさととの雪まつりの会場制作は、1月上旬から2月の本番を迎えるまで約1ヵ月間、作業が行われます。この間の作業工程は「表1」とおりで、重機による会場の盤づくりから始まり、大雪像用の雪運搬、大雪像の制作、出店者用の小間の設置、会場内外の雪像制作、電気・照明の設置など多くの作業工程を経、会場がつくられています。

会場をデザインする  
会場コーディネーター

1月上旬から始まる会場制作の全ての工程は、会場コーディネーターの小沼信孝さんを中心に、作業が進められています。

今回の雪まつり特集の第2部では、雪まつりを支える技術者や町民の方々に焦点を当て、雪まつり会場制作の裏側を皆さまにご紹介いたします。

雪まつり実行委員会  
その年のテーマを決定

雪まつりのテーマは、町内の観光・商工・各種団体や雪まつり関係者でつくる「只見ふるさととの雪まつり企画実行委員会」の中で案を出し、その後の町長などが組織に加わる「只見ふるさととの雪まつり実行委員会」で検討されます。今年は「戊辰150周年」のテーマと大雪像「鶴ヶ城」が決定しました。

**地元建設会社などが連携  
会場の基礎をつくる**

会場制作のスタートは、雪で覆われた会場の盤づくりから始まります。1月11日から1週間かけて、町オペレーターが重機を使って、会場の土台となる雪の盤を踏み固めます。



▲雪運搬が始まった会場



▲ロータリーやバックホーなどの重機を巧みに操り大きな雪山をつくる現場



▲雪像制作が進む会場

盤の完成後、1月18日に会場制作の安全を祈願した「雪運搬式」が行われ、大雪像用の雪が町内各地から集められます。雪運搬は、(有)ジオ・サイクル、川合車輛、浅草建材(株)の地元企業の協力をいただきながら、10tダンプ約千台分の雪が集められます。集めた雪は、

バックホーやブルドーザーで大雪像より大きな雪山をつくりあげ、大雪像制作の準備が整います。また、場内に降り積もった雪や大雪像から余った雪などは、会場内の雪像や入場門、雪壁などに使われ、無駄のない作業工程が組まれています。



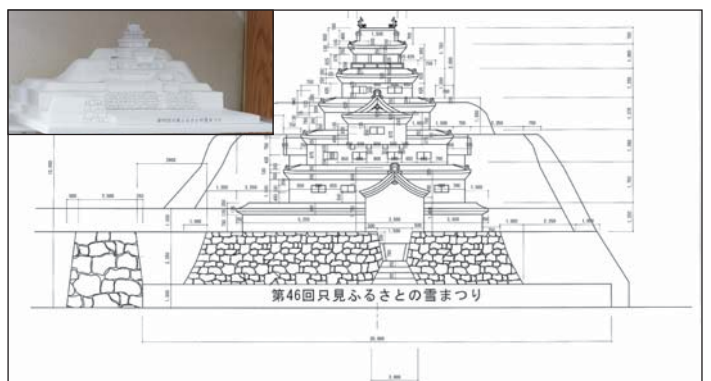
▲車内で作業の確認を行うオペレーターの皆さん



▲町内各地から雪を集める現場

**建築物と同じ工程で  
大雪像をつくる技術者**

雪まつりの大雪像は、町内企業の大正工業(株)の協力により毎年つくられています。作業は本物の建築物をつくる工程とほぼ同じに進められており、設計図や模型などを作製して精巧な大雪像をつくっていきます。最初に大雪像用に集めた雪山に対して測量し、位置出しを行います。位置



▲大正工業(株)が作製した大雪像「鶴ヶ城」の設計図と縮尺模型



▲測量をしながら設計図どおりに作業を進める大正工業(株)の関係者の皆さん

出しが終わると、大工や左官といった町内の職人の方々が、設計図を基に雪山の頂上から順に約15日間かけて削り出していきます。この間、吹雪の日も雨の日も休まず大雪像の引き渡し日となる雪まつり前日まで作業は行われます。今年の大雪像も職人の手によって繊細かつ大胆につくりあげられ、高さ約12m・幅約30mの見事な「鶴ヶ城」が完成しました。



- ①頂上付近の作業現場 ②輪郭を出す増田久さん ③頂上部で作業する馬場信利さん
- ④オペレーターの佐藤隆之さん ⑤雪を削る五十嵐賢さん
- ⑥吹雪の中作業を行う酒井正直さん
- ⑦細かい削りだしを行う星鉄雄さん
- ⑧スコップで削り出す栗田国男さん
- ⑨足場の上で作業を行う渡部芳一さん

雪まつりの楽しみの一つといえ  
ば、町内出店者による「ゆきんこ市」。  
郷土料理などが味わえるほか、民芸品や切手・ハガキなどの販売と27店舗が軒を連ねています。  
なめこ汁などの振る舞いコーナーや救護・警護ブースなどを含めると30以上の小間が必要となります。この小間の基礎となる骨組みを設置しているのが美馬建設(株)の方々です。2月初旬に会場の配置図を基に小間の位置出しを行います。その後、長さ5mの単管パイプ約700本を約3日間という短期間で一気に組み立て、小間の骨組みを完成させます。

**ゆきんこ市を支える  
小間と給排水設備**



▲小間の完成により、多くの人で賑わう「ゆきんこ市」



▲小間の高さや角度を確認しながら作業を進める現場



▲小間用の単管パイプを組む美馬建設(株)の皆さん

骨組みの完成後は、出店者などによりブルーシートや装飾などを施し、小間の完成となります。

また、出店者の中には給排水設備を必要とする店舗もあるため、小間の骨組み作成と同じ時期に、地元の設備会社の共栄の方々が給排水設備を小間や会場内に設置し、来

場者に多くのメニューが提供できるよう対応しています。

### ポランテアで制作 雪まつり会場の入場門

毎年、雪まつり会場の入り口には、大きな入場門が作られます。この入場門を制作しているのが、Jパワーグループの方々です。Jパワーグループ

の方々は、毎年ポランテアで入場門を制作しており、今年で約30年を迎えました。入場門には干支や大雪像に合わせたものがつくられており、今年は大雪像「鶴ヶ城」に合わせた城門がつくられ、城門は2月1日から1週間弱で制作され、今年のテーマに沿う城門が完成しました。



- ⑩給水設備を設置する共栄の渡部さん
- ⑪照明の位置を確認する本多さん
- ⑫入場門を引き渡した電源開発の皆さん
- ⑬入場門に照明を設置する本多電気工事店の方々
- ⑭撮影スポットになった入場門

### 大雪像や会場を彩り

### 雪まつりを支える電気・照明

雪まつりに欠かすことのできない電気や照明。これらは(有)本多電気工事店の協力により設置されています。1月初旬、会場の盤づくりとほぼ同時期に配電や電線の敷設などが行われます。そして、1月下旬には雪まつりの横断幕を設置し、直前に大雪像や入場門、会場内の雪像といったあらゆる場所に照明を設置して、幻想的な会場をつくりだしていきます。また、ゆきんこ市の小間内にも電



▲おんべを設置する只見区の皆さん



▲かがり火が設置された会場

気・照明を設置し、多くの来場者を出迎えるようになっています。

### 町全体で 雪まつりを盛り上げる

雪まつり1週間前になると、町内の小中高生や各団体などが会場内外にミニ雪像をつくり、来場者を迎える準備をします。また、町内各所でも区や団体、個人といった多くの町民が道路沿いや家の前に雪像をつくり、町全体をあげて雪まつりを盛り上げています。

更に、会場では雪像以外

## 雪まつりインタビュー

会場制作で心掛けていることは、作業員の負担を減らし、安全に作業できるようにすることです。そのためにも、来場者と作業員の視点の間に立ち、バランスを考えながら会場制作をしています。例えば、大雪像の図面の原案を考える際も、作業員の人数・時間・安全と、雪像のボリュームなどを考えながら制作しています。今後は、以前のように町内各所に大小さまざまな雪像がつけられ、雪まつりを町全体で盛り上げることが理想と考えます。また、オペレーターの数も減っていくため、人員の確保に努め、雪まつりが末永く続くようにしたいと考えています。



会場コーディネーター  
小沼 信孝さん



大正工業(株)現場監督  
星 幸夫さん

雪まつりの大雪像制作に第34回目から携わり、今年で13年目を迎えました。大雪像制作においては、正確につくることと高所作業の安全対策に心掛けています。特に実物のものに近づけるために、会場コーディネーターが制作した縮尺図面や実物写真を見ながら縮尺模型まで製作し、測量をしながら職人の方々と打合せを行い忠実に再現しています。今年の鶴ヶ城は、不規則な石垣がアピールポイントでした。苦勞することは、天候により作業が大きく左右されることです。これからは、雪像づくりに携わる職人不足が課題になるので、今後の雪まつりについて町全体で考えていきたいと思っています。

雪まつりの電気・照明関係は、第1回目から携わり今年で46年目を迎えました。心掛けていることは、大雪像のモチーフを活かした図面どおりに照明を配置することと、会場全体の照明の配置を考えながら、来場者が暗くて事故を起こさないよう、明かりを確保するよう気配りをしています。苦勞する部分は、自然が相手なのでその都度臨機応変に対応することです。今後も多くの方々に来てもらえるような雪まつりにするために、若い方に協力をいただきながら盛大に開催できるよう、みんなで頑張っていきたいと思っています。



(有)本多電気工事店  
代表取締役  
本多 勉さん



(株)JPハイテック  
吉津 唯利さん

雪まつりの入場門の制作は、平成元年に只見ダムが竣工したのをきっかけに携わるようになりました。現在では、電源開発(株)田子倉電力所、(株)JPハイテック、(株)水力機電工事、(株)南会建機がJ-POWERグループとして1日約10名程度が集まり1週間弱で制作しています。入場門は社内の実行委員会で決定したものをつくっており、始めた当初はその年の干支をつくっていましたが、近年では大雪像にあわせた入場門をつくっています。今後も雪まつりが続く限り協力していきたいと思うので、しっかりと会社の後輩に引き継いでいきたいです。

にも只見区の方々によるおんべや酒井建設(資)製材所の方々によるかがり火などが設置され、雪まつりイベントを支えています。

### 雪まつりを支える

#### 只見町民の方々

このように、只見ふるさとの雪まつりは、様々な工程を経て感動的な会場がつけられ、そして多くの方々の協力により開催されています。

この他にも紹介することができなかつた、多くの方々の支えもある一方で、雪まつりには後継者不足という大きな課題があります。この課題克服のためにも、これからの雪まつりについて町全体で考えていかなくてはならない時期に来ていると感じます。

これからも只見町の雪まつりが将来にわたって続いていくことを期待します。

南会津広域消防署只見出張所が「救命処置の手順」を伝える

# あなたの大切な人を救うために

皆さんは、大切な家族や友人、近くの方が突然倒れたらどのような行動をとるでしょうか。倒れた方に呼びかけても反応がなく、正常に呼吸していない場合は「心停止」の可能性があります。

救命処置は、そばに居合わせた人が、胸骨圧迫と人工呼吸からなる「心肺蘇生法」や「AED（電気ショック）」を使った応急手当を行う必要があります。本号では、大切な人を守る救命処置の手順について南会津広域消防署只見出張所と連携してお伝えいたします。



## 心肺蘇生法とAED(電気ショック)



大丈夫ですか!?

反応がない!?

### ①反応(意識)の確認

傷病者の耳もとで呼びかけながら肩をやさしくたたき、反応があるかないかを確認します。



救急です。  
場所は只見町〇〇です。  
〇〇さんが倒れています。

### ②119番通報とAEDの手配

助けを求め、協力者が駆けつけたら、119番通報とAEDを依頼します。救急車を呼ぶ際は、火事や救急、住所、状況、通報者を伝えます。



### ③呼吸の確認

傷病者が「普段どおりの呼吸」をしているかどうかを10秒以内で確認します。



※協力者にAEDの手配を依頼する場合、近くにあるAEDの設置場所を伝えます。町内の設置場所は「表1」のとおり。

# 「表1」只見町AED設置場所一覧表

※略称表記

No.	只見地区の施設	No.	朝日地区の施設	No.	明和地区の施設
1	只見町役場	1	ティーエヌアイ工業	1	明和小学校校舎・体育館
2	民宿只見荘	2	朝日振興センター	2	明和振興センター
3	只見小学校校舎・体育館	3	J A会津みなみ只見支店	3	明和保育所
4	只見高校	4	朝日保育所	4	和の里
5	只見保育所	5	朝日小学校校舎・体育館		
6	東邦銀行 只見支店	6	只見中学校校舎・体育館		
7	只見振興センター	7	あさひヶ丘		
8	桜の丘みらい	8	こぶし苑		
9	只見町教育委員会	9	只見ホーム		
10	Jパワー只見展示館(4月～11月)	10	あさくさホーム		
	Jパワー事務所(11月～4月)	11	ヒロタテクノ		
11	旅行村いこいの森(4月～11月)	12	季の郷 湯ら里		
	只見スキー場(11月～4月)	13	深沢温泉 むら湯		

※有事の際は、近くのAEDが使用できますので、設置場所に一言声をかけて使用してください。

※表にある設置場所以外で、町内にAEDを所有している事業所は、消防署只見出張所までお知らせください。

## ④胸骨圧迫「30回」(心臓マッサージ)

「普段どおりの呼吸」がない場合は、胸骨圧迫(心臓マッサージ)を行います。胸骨圧迫は、肘をまっすぐに伸ばして手の付け根の部分に体重をかけ、傷病者の胸の真ん中が約5cm沈むほど強く・速く両手で圧迫します。1分間に100～120回の速いテンポで30回連続して絶え間なく圧迫します。



呼吸をしていない!?



## ⑤人口呼吸「2回」

30回の胸骨圧迫が終わったら、気道確保し人工呼吸を行います。胸骨圧迫と人工呼吸のサイクルは30対2です。

その他、応急手当法や普通救命講習会受講なども受け付けておりますので、ぜひご相談ください。

### ◆問合せ先

南会津広域消防署  
只見出張所  
TEL0241 - 84 - 2119



## ⑥AED(電気ショック)

心肺蘇生法を行っている間にAEDが到着したら使用します。AEDは数種類ありますが、どの機種も同じような手順です。



# 第56回「只見町民スキー大会」開催

## アルペン・スノーボード競技

- ① 中学男子の部で優勝した只見中2年の新國太陽さん
- ② 最年少4歳で参加した朝日保育所の岩佐朱乃さん
- ③ 小6女子の部で優勝を飾った只見小6年の鈴木莉子さん
- ④ スノーボード一般の部で優勝した脇坂斉弘さん



②



①



④



③

## クロスカントリリー・リレー競技

- ⑤ 小学女子の部で優勝した明和小Aチームのアンカーを務めた梁取ももさん(6年)
- ⑥ 小学男子の部のスタートの瞬間
- ⑦ 中学女子の部で優勝した只見中女子第2走者の目黒楓華さん
- ⑧ 中学男子の部で優勝した只見中のアンカーを務めた山内大暉さん



⑥



⑤



⑧



⑦

2月18日、「第56回只見町民スキー大会」が只見スキー場で盛大に開催され、町内の保育所児童から大人まで約120名の選手が参加しました。

今年の大会は、大雪というあいにくの天候となりましたが、選手たちは日ごろの練習の成果を十分に発揮し、会場は大きな声援に包まれました。

アルペンでは、最年少4歳の児童や最高齢71歳の方がアルペン大回転に挑戦するなど、各部門で盛り上がりを見せました。

また、クロスカントリリーでは、個人・リレー競技が行われ、多くの保護者の方々や各学校の先生が声援を送っていました。

今大会の結果は、次のとおりです。



◆大会上位の結果(敬称略)

【大回転未就学児の部】

▽参加者名

- 三瓶 れん(朝保・6歳)
- 馬場 慈(明保・6歳)
- 齋藤ひまり(只保・6歳)
- 岩佐 朱乃(朝保・4歳)

【アルペン大回転】

▽小学女子1年の部

- ①大東芽生(明和小)

▽小学男子1年の部

- ①齋藤 充希(明和小)
- ②目黒佑乃心(明和小)
- ③五十嵐千紘(只見小)

▽小学女子2年の部

- ①齋藤 寧々(朝日小)
- ②山内 悠愛(明和小)
- ③湯田 桜杏(只見小)

▽小学男子2年の部

- ①目黒純乃介(明和小)
- ②岩佐 滢乃(朝日小)
- ③山内 丈大(明和小)

▽小学女子3年の部

- ①齋藤 有希(明和小)
- ②小森佑衣奈(只見小)
- ③三瓶つかさ(朝日小)

▽小学男子3年の部

- ①五十嵐悠陽(只見小)
- ②五十嵐 蓮(朝日小)

- ③船木 翔空(朝日小)
- ▽小学女子4年の部
- ①大東 咲来(明和小)
- ②矢沢 実優(明和小)
- 同②吉津 知巴(朝日小)

▽小学男子4年の部

- ①矢沢 亮太(只見小)
- ②大竹 蓮斗(明和小)
- ③印南 奏詩(明和小)

▽小学女子5年の部

- ①飯塚 妃(明和小)
- ②齋藤 椿(只見小)
- ▽小学男子5年の部
- ①目黒 咲翔(朝日小)
- ②堀金 康太(朝日小)
- ③菅野 陽翔(明和小)

▽小学女子6年の部

- ①鈴木 莉子(只見小)
- ②大竹 未桜(只見小)
- ③青山日菜花(只見小)

▽中学男子の部

- ①新國 太陽(只中2年)
- ②羽染 宗都(只中2年)
- ③鈴木 涼(只中2年)

▽一般女子1部の部

- ①羽染亜紀子(只見)
- ②馬場 麻美(塩ノ岐)
- ③岩佐 幸(黒谷)

▽一般女子2部の部

- ①五十嵐美香(只見)
- ②五十嵐佳子(只見)
- ▽一般男子1部の部
- ①目黒 秀成(黒谷)
- ②新國 真也(只見)
- ③五十嵐 蓮(只見高校)

▽一般男子2部の部

- ①目黒 光成(梁取)
- ②山岸 国夫(黒谷)
- ▽小学生男子の部
- ①矢沢 博哉(只見小2年)

▽高校・一般男子の部

- ①脇坂 斉弘(ねっか)
- ②山内 征久(ねっか)
- 【クロスカントリー】

◆個人・クラシカル

- ▽中学女子の部
- ①目黒 楓華(只中3年)
- ②渡部 千春(只中2年)
- ▽中学男子の部
- ①吉津 隼馬(只中3年)

【クロスカントリー】

- ▽小学女子4年の部
- ①目黒 真由(只見小)
- ②酒井 麗(只見小)
- ▽小学男子4年の部
- ①酒井 湧司(明和小)

◆個人・フリー

- ①目黒 真由(只見小)
- ②酒井 麗(只見小)
- ▽小学男子4年の部
- ①酒井 湧司(明和小)

- ②横山 敬都(明和小)
- ③矢沢 魁吏(只見小)
- ▽小学女子5年の部
- ①岩佐 乃杏(朝日小)
- ②山内ひかり(明和小)
- ③松永 佳音(只見小)

▽小学男子5年の部

- ①目黒琳太郎(明和小)
- ②酒井 駿(明和小)
- ③五十嵐零生(只見小)

▽小学女子6年の部

- ①梁取 もも(明和小)
- ②三瓶心乃花(明和小)
- ③山中 美紅(朝日小)

▽小学男子6年の部

- ①菊地 結雅(明和小)
- ②羽染 治輝(只見小)
- ③鈴木 詠大(只見小)

▽中学女子の部

- ①鈴木 美羽(只中3年)
- ②三瓶日麻莉(只中2年)
- ▽中学男子の部
- ①大竹 優真(只中1年)
- ②菅野 慧汰(只中1年)
- ③山内 友斗(只中1年)

【クロスカントリー】

- ①目黒 真由(只見小)
- ②酒井 麗(只見小)
- ▽小学男子4年の部
- ①酒井 湧司(明和小)

◆リレー競技

- ▽小学女子の部
- ①明和小Aチーム

- 山本愛佳・印南蒼羽・三瓶心乃花・梁取もも
- ②只見小Aチーム
- 大竹未桜・五十嵐杏・五十嵐陽菜・齋藤椿
- ③朝日小Aチーム
- 佐藤静香・本名真歩・山田夢空・山中美紅

- ①明和小Aチーム
- 目黒琳太郎・酒井駿・菊地新大・菊地結雅
- ②只見小Aチーム
- 鈴木詠大・羽染治輝・酒井恰斗・目黒元基
- ③只見小Bチーム
- 五十嵐零生・渡部有希人・山内太喜・新國蒼空

- ▽中学女子の部
- ①只見中女子チーム
- 鈴木美羽・目黒楓華・三瓶日麻莉
- ▽中学男子の部
- ①只見中Bチーム
- 菅野慧汰・吉津壘・大竹優真・山内大暉
- ②只見中Aチーム
- 吉津隼馬・渡部恰央・山内友斗・菅家真心

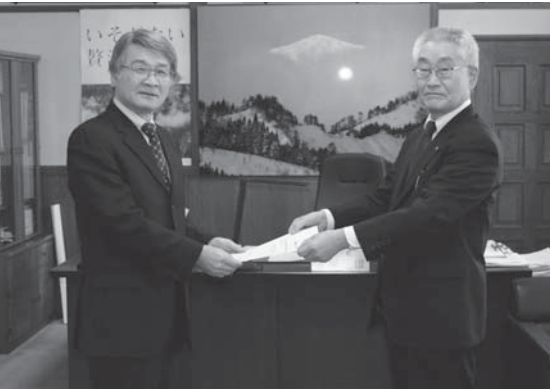
### 高等学校改革に対応するために

## 只見高校対策の専門委員を設置

2月1日、只見高等学校振興対策専門委員の委嘱状交付式が役場で行われ、菅家町長から齋藤修一前教育長に委嘱状が手渡されました。

これは、県の高等学校改革に対応するために、専門的な知識を持つ有識者を専門委員として教育委員会に設置するもので、専門委員は只見高校の振興対策のために広い視野で見や助言などを行います。

齋藤専門委員の任期は12月31日までで、今後只見高校の振興対策や存続に向けた活動を行っていきます。



▲齋藤前教育長(左)に委嘱状を手渡す菅家町長(右)

### 只見高校の更なる振興に向けて

## 只見高校の対策を福島県に要望

2月13日、菅家町長や齋藤邦夫議長、齋藤修一只見高校振興対策専門委員などが福島県庁を訪れ、只見高校の更なる振興に向けた要望活動を行いました。

要望活動では、「1学年募集定員を70人、1学級の編成基準40人を35人として認可されている現制度を継続的に維持してほしい」などが盛り込まれた要望書を、菅家町長から鈴木淳一県教育長に手渡しました。

要望に対し鈴木県教育長は「只見高校の町における位置づけや町の思いを感じた」とし、今後検討していきたいと話されました。



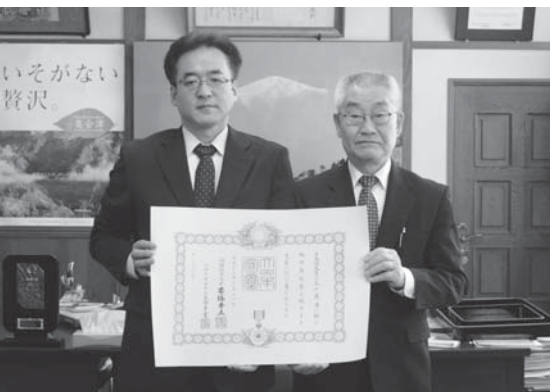
▲齋藤議長や齋藤専門委員が同席する中、鈴木県教育長(左)に要望書を手渡す菅家町長(右)

### 故・五十嵐源一郎さん

## 叙勲伝達式で功績を称える

2月19日、元只見町議会議員で昨年11月に82歳で亡くなった五十嵐源一郎さんへの死亡叙勲(旭日单光章)伝達式が役場で行われ、長男の久さんが出席されました。源一郎さんは町議会議員を、平成8年に初当選してから3期12年、平成16年からは2年間、副議長を務められました。また、町教育委員、町監査委員、町森林組合代表監事、町土地改良区副理事長なども歴任し、町政発展に貢献されました。

佐々恵一県南会津地方振興局次長が同席した伝達式で、菅家町長は長男の久さんに勲記などを手渡し、その功績を称えました。



▲菅家町長(右)から勲記を受け取る久さん(左)

### 町の教育振興基本計画を考える

## 第4回「検討委員会」を開催

1月26日、「第4回只見町教育振興基本計画検討委員会」が季の郷湯ら里で開かれ、関係者などが出席しました。

検討委員会の最終回となる今回は、これまで検討してきた基本計画案を改めて委員の方々と見直しながら意見交換をしました。委員からは「町民にも分かりやすく、理解できる形の計画を策定してほしい」などの意見が出されました。

今後は、各委員からの意見を参考に、最終的なまとめを行い、総合教育会議を経て基本計画として策定されます。



▲教育振興基本計画について熱心に検討する委員の皆さん

食育とスポーツ分野で表彰

只見小と明和小が受賞報告

2月21日、県教育委員会から表彰を受けた只見小学校の関根隆校長と明和小学校の渡部早苗校長が役場を訪れ、菅家町長に受賞報告を行いました。只見小は、「食育推進優秀校表彰」で優良賞を受賞。バランスの良い食事や肥満予防などの取り組みが評価されました。また、明和小は「ふくしまっ子体力向上優秀校表彰」で優秀校を受賞。体力向上プログラムの実践や早朝マラソンなどを行った結果、体力テストで全学年全国平均を上回ったことなどが評価されました。

報告を受け菅家町長は、2校の取り組みを称えました。



▲報告に訪れた只見小の関根校長(中右)と明和小の渡部校長(中左)

人材育成第9期生

「チラシづくり」講座開催

2月8日、人材育成第9期生の講座「チラシづくり」が只見振興センターで行われ、受講生6名が参加しました。9期生は、「アウトドアプランナー」を目指すために受講しており、今回はイベント開催時の情報発信の手法としてチラシづくりをテーマに学びました。

チラシづくりでは、会津若松市から北日本印刷(株)の渡部氏を講師に迎え、情報や写真などを掲載する基本について学びました。受講生は、3月17日に雪遊びイベントを企画しており、今回学んだことを活かしたチラシを制作しました。



▲基本を学んだ講座  
▶受講生が制作したイベントのチラシ

明和地区の伝統芸能を継承

明和小学校で「伝統芸能発表会」

2月27日、明和小学校で「伝統芸能発表会」が行われ、地域住民や保護者など約80名が参加しました。この発表会は明和地区に伝わる伝統芸能の継承や「只見愛の教育(ESD)」などの一環で行われているもので、今年で4年目を迎えました。

始めに、地域の防犯活動を行う「小林明朗見守り隊」の方々への「感謝の会」が開かれ、児童から感謝の気持ちや伝えられました。続いての発表会では、1・2年生が「大倉八木節」、3年生が「小林早乙女踊り」、4年生が「梁取神楽」を発表し、満員となった会場からは大きな拍手が贈られました。



▲4年生が披露した「梁取神楽」

循環器病予防など理解を深める

「脳卒中・循環器病予防講座」開催

2月27日、心臓や腎臓など大切な臓器を守るための講座「脳卒中・循環器病予防の講話と食事会」が保健福祉センターで開かれ、約30名が参加しました。

始めに、朝日診療所医師の渡邊孝一郎先生による「脳卒中・循環器病予防のために」と題した講演が行われ、動脈硬化が及ぼす影響やその予防について説明されました。続いての試食会では、町の栄養士が考案した減塩・脂質をカットした動脈硬化予防メニュー「しいたけ餃子」など5品目を試食し、参加者からは「減塩したとは思えないほど美味しい」との感想が聞かれました。



▲脳卒中・循環器病予防の理解を深めた参加者の皆さん

## 雪まつり出演5年目のGABEZがダンスの楽しさと感謝を伝える！ GABEZ「ダンスワークショップ」を開催

2月12日、雪まつり出演5年目を迎えたGABEZ(ガベジ)の「ダンスワークショップ」が朝日振興センターで行われ、子どもなど約50名が参加しました。二人組のGABEZは、台詞を使わず芝居を組み合わせた「ダンス&サイレントコメディ」というジャンルで活躍されています。今回は、只見町への感謝の気持ちとダンスの楽しさを伝えたいという思いから開催されたもので、前半に公演と後半にダンス教室が行われました。公演では、雪まつりでも披露した六角精児バンドの「只見線のうた」に合わせたダンスを行い、ダンス教室では、基本ステップなどを伝えました。最後にGABEZの二人は「ダンスで相手に気持ちが伝えられると信じています。だから皆さんにダンスの楽しさと感謝を伝えたくった」と話し、参加者から大きな拍手が贈られました。



▲GABEZのMASAさん(中央)・hitoshiさん(下)と参加者の皆さん

## 只見中学校の校歌をつくった制作秘話を伝える 只見中学校で作詞家・石原信一さんの講演会を開催



▲石原さんやマツリカの方々と触れ合った3年生の皆さん

1月10日、只見中学校の校歌をつくった作詞家・石原信一さんと二人組の歌手・マツリカの方々による講演会が同中学校で開かれ、全校生徒と学校関係者が参加しました。これは、3地区の中学校が統合して11年が経過した同中学校の歩みと只見愛を感じる機会として開催されたもので、今回校歌をつくられた方々による講演と演奏会が行われました。講演では、石原さんによる「只見中学校校歌が出来るまで。ふるさと会津」と題した発表と、演奏ではマツリカによる「オキアガリコボシ」など6曲が披露されました。最後に全員で校歌を合唱し、生徒たちは「校歌に込められた思いなどが分かった」などの感想を述べていました。

## 只見町ブナセンター座談会 「狩猟者に聞く 只見町の狩猟と自然との関わり」

2月18日、ただみ・ブナと川のミュージアムにおいて、クマの狩猟経験豊富な小椋紀一さん(小林)、渡部民夫さん(小川)を講師に座談会が開催され、町内外から17名が参加しました。座談会では、昭和50年代のクマの巻狩猟の映像を見た後、クマの巻狩猟やウサギ・シカ猟などの狩猟方法や狩猟を通して感じた自然の変化について説明されました。参加者は只見町の自然と人との関わりについて理解を深めていました。



▲町の狩猟について学んだ座談会

## 心の中の悪い鬼を追い払う 只見保育所で「豆まき」開催!

2月2日、節分の行事「豆まき」が各保育所で行われました。只見保育所の「豆まき」では、窓から赤鬼と青鬼が突然現れ、子どもたちは怖がりながら一生懸命に豆をぶつけて鬼退治しました。鬼退治した後は、さくら組の男の子が代表で「寝坊助鬼」や「おこりんぼう鬼」など心の中の鬼を退治したいと話し、ボランティアで協力された目黒芳雄さん（只見）と一緒にみんなで豆まきを楽しみました。



▲保育所内に「鬼は外～!福は内～!」と大きな声で豆を投げるさくら組の児童と目黒芳雄さん

## お笑い芸人と一緒に冬の只見町を楽しむ 只見線・奥会津魅力体験バスツアー

只見線と奥会津の魅力を発信する県の事業「よしもと芸人で行く!奥会津体験バスツアー」の第六弾が2月3～4日に只見町を舞台に開催され、「ライセンス」井本さんや「どりあんず」などの人気芸人と参加者約40名が訪れました。ツアーでは、只見スキー場で菅家町長が「思う存分冬の只見町を楽しんでください」と参加者を出迎え、参加者は雪遊びや温泉などを楽しみ、JR只見線の視察などを行いました。



▲只見スキー場でスノーボードや雪遊びなどを楽しんだ「よしもと芸人」と参加者の皆さん

## シェルナッハの会とハートネットふくしま 大雪の只見町で除雪ボランティア

2月3日、NPO法人ハートネットふくしま(郡山市)が企画する除雪体験ボランティアが町内で行われ、只見町シェルナッハの会が全国からのボランティア約10名を受け入れ、除雪作業を行いました。大雪に見舞われた今年は、町介護老人保健施設こぶし苑などで除雪作業を行い、施設の屋根に積もった雪下ろし作業を行いました。こぶし苑では「今年は大雪だったので大変助かりました」と話しました。



▲こぶし苑の玄関屋根の除雪作業を行うボランティアスタッフの皆さん

## ひなまつりにちなんだ料理に挑戦! 「ひなまつりパーティー」開催

2月25日、女の子の健やかな成長を願う桃の節句「ひなまつりパーティー」が只見振興センターで開催され、子どもや保護者など約10名がひなまつりにちなんだ料理に挑戦しました。料理は、お寿司ケーキや大福に挑戦し、刃物は使わず型抜きなどを使って可愛く飾り付けました。料理が完成するとみんなでお祝いし、楽しい「ひなまつりパーティー」を過ごしました。



▲ひなまつりパーティーに参加した子どもたち

## 2月から新しい看護師さんが着任しました!

2月1日から4ヶ月間、朝日診療所で勤務していただく会津中央病院看護師の加藤晴香さんです。加藤さんは、身近な存在である親戚などが看護師をしており、その姿を見て自分も看護師を目指したそうです。会津中央病院では、一般病棟と救命病棟を経験し、只見町へやってきました。加藤さんの趣味は音楽鑑賞で、休日にはよく友達とライブを見にいくそうで、只見町ではスノーボードなどにも挑戦したいそうです。診療所では「短い期間ですが頑張ります!」と話す加藤さんをどうぞよろしくお願ひいたします。



加藤 晴香さん  
(出身/会津若松市)

## 広報ただみ診療所

朝日診療所  
医師 渡邊 孝一郎



### 「退任のご挨拶」

皆さんこんにちは。今季の寒さや雪の多さは昨年・一昨年よりも一層身にしみますね。インフルエンザは「A型」も「B型」も出ていますのでご注意ください。今回は私の退任のご挨拶をさせていただきます。

早いもので只見に来てから丸2年となりました。2年の間には本当に色々な出来事がありました。私事では結婚をしたり、認定内科医の試験に合格したり、雪まつりも体験させていただきました。

同僚の先生方のご指導のもと、たくさんの経験もさせていただきました。また退院調整にあたっては、患者さんご家族の方々や看護師さん、ケア

マネジャーの皆さん、各種施設の方々とたくさんの相談をさせていただきました。本当にありがとうございました。深く感謝しております。

4月からは福島県立医科大学附属病院に所属しながら、各関連施設で循環器内科の勉強をさせて頂く予定です。どこかでお会いしましたら声をかけてくださいね。

最後になりますが、重ねまして本当にお世話になりました。少しでもお役に立てたなら幸いです。今後とも精進していきたいと思ひます。皆さまのご多幸を心からお祈りしています。ありがとうございました。

## 地域おこし協力隊として vol.40

只見町観光振興協力隊

やましな まい  
山科 麻伊



### 「能動的に楽しむ只見らしさ」

2回目の只見の冬、今年は去年以上の降雪となったものの、私にも「冬はそういうものだ」というようなマインドができつつあり、あまり動じなくなってきました。

昨年は「只見町女将の会」の立ち上げへの関わりを通して、現場の姿を学ばせて頂きました。今年も、女将さん方の思いを汲み、お力になりたいというように感じています。また、協力隊の目線で、「只見の観光の魅力で、一番の強みになるものは何だろう?」と考えてみました。只見は従来型観光地とは

違い、「受け身で楽しむ」より「能動的に楽しむ」ことのできる土地です。今の時代は既に決められた楽しみ方を個々の意思によって選択さえすればよく、「考えなくても楽しめる」ものばかりです。工夫し、創造しようという精神が失われつつあります。

町の方々が長い間、遊びは能動的で、創造的なものであると認識し、受け継がれてきたものを求めている層は必ずいると思ひます。外国人旅行客も観光客のターゲットとして重要になってきた今、最後の1年はそういう「只見らしさ」を売りに何かできることを行っていきたいと思ひます。

## ただみ水田雑草考 ⑤

### ―防除の厄介な水田雑草―

クログワイは、中空のストローに似た茎を束生し、地下に小さなイモのような塊茎をつけるカヤツリグサ科の植物で、只見町では調査した田んぼ4筆に1筆程度の割合で全町的に見られました。塊茎の寿命が長くかつ芽の数が多いう特性が防除を厄介にしているのですが、かつて京都大

学にいた小林央往さんは、溜池のクログワイが形成した塊茎は春に二斉に発芽するのに対し、田んぼのそれは長期間にわたってバラバラに発芽することを明らかにしました。なるほど、そうすれば田の草取りや除草剤でいつ頃に全滅させられることはないわけです。稲作の長い歴史に培われた雑

草としての生き残り戦略について感心してしまいます。したがって、耕作者の立場からいえば、時期を変えた複数回の除草作業が必要だということになります。除草剤だけに頼らず、秋の田起こしを励行し塊茎を乾燥と低温にさらして越冬個体をできるだけ少なくするのも考でしょう。

最近増えてきた雑草にマメ科のクサネムがあります。高さ1m以上、茎は太くて硬く稲刈りの障害になり、収穫後の玄米に種子が混入して品質を落とすこと

もありです。今のところ伊南川流域に限られています。今後は只見川流域でも見つかるかもしれません。バラバラになった果実が水流や農業機械あるいは水鳥の足などに付着してひろがると考えられますので果実が落ちない

うちに、また発生したら1本、2本と数えられるうちに引き抜き焼却することが大切です。休耕地はとくに発生しやすく、二度刈り払っても切株から再び繁茂してきますので、根絶には2回以上の作業が必要になります。いま全国的に問題になっているのが除草剤に対する抵抗性個体の出現です。スルフォニルウレア系の一発除草剤は低毒性、選択性、残効性に優れていることから広く使用されるようになりましたが、毎年同じものを使い続けたために、雑草の遺伝子の塩基配列が

変わらなくなり、ある個体はコナギ、オモダカ、イヌホタルイ、タケトアゼナ、アゼトウガラシなどにそのような個体が報告されています。それらを外見で判別するのは難しく生化学的な検定が必要になります。毎年除草剤を使用しても特定の種類の雑草がなくならない、あるいは急激に増えてきたときには抵抗性個体に注意してみてください。そうならないためには、ときどき除草剤の種類を変えることが大切です。



▲クログワイ(2012.9 只見)



▲クログワイの塊茎(越冬芽)



▲クサネム(2012.9 楡戸)



▲クサネムの果実(莢と種子)



# 町民文芸

## 只見短歌会 一月詠草

大塚栄一 指導

亡き母の作りし鞆枕許に置きて寝るらし施設の孫は

馬場 八智

激動の昭和を生きつぎ平成の除夜の鐘の音あと一度か

渡部ゆき子

受験日の孫に優しく気張るなど声かけ朝の受話器を置きぬ

関谷登美子

朝まだき蛇口凍れば汲み置きし水を沸かして夫と茶を飲む

小倉キミ子

ざらざらのばあちゃんの手で搔ひてとふ柔き孫の背そつと撫でやる

目黒 富子

祖母と会ひカメラ向ければ恥じらふもとつきにピースわが真似をして

飯島小百合

栄養剤口に合はむと言ふ従姉に牛乳やコーヒー混ぜて試む

新国由紀子

正月もただ忙しく過ぎし来てわが健康をふり返りみつ

渡部ヨリ子

介護施設に入所の人ら看取りある職員等つねきびきびとして

新国 洋子

(出詠順)

## 只見俳句会 二月例会

目黒十一 指導

鐘樓の眼下となりぬ雪の寺

アツ子

前の家の灯りも見えず雪の夜

味代子

命綱しめて茅屋根雪落し

吉 児

節分や乳歯ちらちら離乳食

弘 子

除雪機の自走なれども手に重し

幸 生

外にも出ず膝ほどと答う雪見舞

恒 夫

受験生まなじり決して足早に

信

兜太死す心受け継ぐ春時雨

礼

大荷物学校始めの子供かな

都

初曆さながら行かぬ部屋に掛け

一 穂

しんしんと地球の冷えて音もせり

洋 子

手の中の中也の雪はただ真白

修 一

豪雪や幾度耐え抜く村社  
雨水とや聞きて微かに心浮く



# 今月の お知らせ

## 電話番号

総務課	
総務係 財政係	☎82-5210
総合政策課	
地域振興係 広報広聴係	☎82-5220
町民生活課	
税務係	☎82-5110
町民係	☎82-5100
保健福祉課	
保健係	☎84-7005
福祉係	☎84-7010
農林振興課	
農政係	☎82-5230
林政係	☎72-8011
観光商工課	☎82-5240
観光係 商工係	
環境整備課	
地域整備係	☎82-5270
生活環境係	☎82-5280
会計室	☎82-5120
議会事務局	☎82-5300
農業委員会	☎82-5230
教育委員会	☎82-5320
学校給食センター	☎84-7180
只見保育所	☎82-2219
朝日保育所	☎84-2038
明和保育所	☎86-2249
朝日診療所	☎84-2221
(歯科)	☎84-2612
こぶし苑	☎84-2101
只見振興センター	☎82-2141
朝日振興センター	☎84-2111
明和振興センター	☎86-2111

## お知らせ

自動車移転(変更・抹消)は忘れずに

福島県南会津地方振興局県税部より、自動車税について次のとおりお知らせします。

### ●自動車税の送付時期

例年5月に納税通知書が送付されます。

### ●自動車税の課税について

自動車税は、毎年4月1日午前0時現在の登録名義人である所有者(割賦販売などで所有権が保留されている場合は使用者)に課税されます。そのため、移転の登録や抹消の登録が行われていないと、もとの所有者に課税されることとなります。自動車を下取りに出したり他人に譲ったりしたときには、必

ず運輸支局で移転登録または抹消の手続きをしましょう。3月末までに登録しないと、翌年度の税金が課税されます。

### ●転居した場合について

自動車税の納税通知書は、運輸支局に登録されている住所(自動車検査証に記載されている住所)に送付されるので、住民票の異動だけでは新住所へ送付されません。転居したときには、必ず運輸支局で車検証の住所変更手続きをしましょう。3月末までに手続きを行いますと、新住所に送付されます。

### ●車検切れの自動車について

車検切れの自動車であっても、登録がされている限り自動車税が課税されます。壊れて動

かなくなったり、使用しなくなったりした車は、運輸支局で抹消の手続きをしましょう。抹消された翌月から月割で課税されなくなります。既に年税額を納めている場合には、抹消した翌月以降の税金は還付されます。3月末までに抹消登録すれば、翌年度は課税されません。

### ●その他

登録に関する手続きは、運輸支局や南会津自家用自動車組合、自動車販売店、整備工場などにご確認ください。

### ●問合せ先

福島県  
南会津地方振興局県税部  
☎0241(62)5212

## 試験

国家公務員「国税専門官採用試験(大卒程度)」のお知らせ

仙台国税局では、平成30年度国家公務員「国税専門官採用試験(大学卒業程度)」に係る、バイタリティーあふれる国税専門官を募集しています。

国税専門官は、国の財政を支える重要な仕事を担い、税務署などにおいて、調査・徴収・検査や指導などを行う税務のスペシャリストです。

### ●受験資格

▽昭和63年4月2日から平成9年4月1日生まれの者  
▽平成9年4月2日以降生まれの者  
れの者で次に掲げる者

①大学を卒業した者及び平成31年3月までに大学を卒業

する見込みの者

②人事院が①に掲げる者と同等の資格があると認める者

### ●受験申込受付期間

3月30日(金)から

4月11日(水)まで

### ●受験申込方法

▽受験申込みはインターネット申込みとする。

▽国家公務員試験

採用情報NAVI  
(<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>)

### ●第1次試験日

6月10日(日)

### ●問合せ先

仙台国税局 人事第二課  
試験研修係  
☎022(263)1111

## 税 今月の納期

3月26日までに

納めましょう

●農集排使用料(3月分)

## 福島県警察官 採用候補者試験

(予定)のお知らせ

福島県警察では、平成30年10月1日採用予定の警察官(男性・女性)を次のとおり募集します。

### ●受付期間

平成30年3月9日(金)～  
平成30年4月6日(金)

### ●受験資格

▼昭和59年4月2日以降に生まれた方

▼大学を卒業した方または平成30年9月末日までに卒業見込みの方

### ●第1次試験日

平成30年5月13日(日)

### ●申込方法

受験申込書は、最寄りの警察署または駐在所にあります。

※ご不明な点があれば、お気軽にご連絡ください。

### ●問合せ先

南会津警察署 警務係

☎0241(62)1140

## 虫歯のない子



(2月6日  
3歳児健診)



とうま  
新妻 橙真くん  
(只見)



あつひろ  
角田 淳紘くん  
(布沢)



はずき  
菅野 蓮貴くん  
(梁取)



さつき  
菅家 沙月さん  
(只見)



ゆうひ  
飯塚 雄飛くん  
(只見)

## 町長スケジュール

(2月分)

- 1日 福島県サポート事業成果発表会(南会津町)
- 2日 只見町議会全員協議会、ふるさと応援在京福島県経済人の集い(東京都)
- 3日 奥会津魅力満載キャンペーンバスツアーイベント(～4日)
- 5日 定例庁議
- 6日 当初予算町長査定(～7日)
- 8日 南会津地方広域市町村圏組合管理者会、福島県土地連南会津支部総会、南会津地方土地開発公社理事会、会津高原ふるさと推進協議会理事会、南会津地方町村会総会、南会津地方環境衛生組合管理者会(南会津町)
- 9日 雪まつり大雪像引渡し式、只見町議会2月議会、柏市との懇談会
- 10日 只見ふるさとの雪まつり(～11日)
- 13日 福島県教育長への高校改革要望活動(福島市)
- 15日 当初予算町長査定

- 16日 南会津警察署長着任挨拶、只見高校振興対策協議会総会・懇談会
- 18日 町民スキー大会、会津かねやま雪まつり(金山町)
- 19日 故五十嵐源一郎氏叙勲伝達式、奥会津トータルアドバイザーとの意見交換会
- 20日 只見町農業再生協議会総会
- 21日 総合教育会議
- 22日 議案検討庁議
- 23日 南会津地方環境衛生組合議定会例会、南会津地方広域市町村圏組合議定会例会・懇談会(南会津町)
- 26日 奥会津五町村活性化協議会定例総会、只見川電源流域振興協議会定期総会・懇親会(三島町)
- 27日 榊季の郷湯らり取締役会、第2回議案検討庁議、南会津地方町村会懇談会(福島市)
- 28日 南会津地方広域市町村圏組合管理者会、福島県町村会定期総会、福島県国民健康保険団体連合会通常総会(福島市)、平成29年度只見町山村教育留学生送別式、雪まつり実行委員会慰労会

# 町民の消息

(1月26日～2月25日届出分) 敬称略

## ■おくやみ申し上げます

橋川 敏	92歳	小林
角田 藤彦	76歳	小林
目黒 大策	77歳	小川
馬場 千工子	98歳	長浜
目黒 由美子	97歳	只見



※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

# 人のうごき

平成30年2月1日現在

人口	4,303 (-10)
男	2,107 (-7)
女	2,196 (-3)
世帯数	1,855 (-6)
高齢化率	45.05%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 5    転出 5    出生 0    死亡 10

▽今回の特集「雪まつりを支える技術者たち」は、雪まつりを担当する観光商工課から制作現場に焦点をあてて紹介できないかという相談を受けて企画したものです。何度も現場取材させていただきましたが、現場で一番苦労することは天候に左右されることです。吹雪で前も見えない状況下で作業する日もあれば、晴天や雨により雪像や会場の雪が解け、作業のやり直しが必要な日もあります。今回の特集を通して、普段私たちが目にする雪まつりは、町内の技術者たちに支えられていることを少しでも知っていただければ幸いです。

(三瓶)

## あとがき

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

## 町民憲章

生涯学習推進員  
三瓶美由紀

朝日振興センター  
図書室 ☎84-2111

# おすすめ新着図書

## ★1人称童話シリーズ—桃太郎が語る桃太郎



クゲユウジ/著  
(高陵社書店)

「昔々あるところに…」でおなじみのスタンダードな昔話は、決まって3人称。いわゆる「天の声」でえがかれています。3人称から1人称へ。客観から主観へ。もしあの童話の主人公が自らの口で語ったら。その額にカメラがついていたら——「1人称童話」はそんな発想のちょっと変わった絵本です。「もしきみが桃太郎なら？」本の最後には、そんな問いかけが待っています。子どもはもちろん、大人も楽しめる絵本です。

客観から主観へ。もしあの童話の主人公が自らの口で語ったら。その額にカメラがついていたら——「1人称童話」はそんな発想のちょっと変わった絵本です。「もしきみが桃太郎なら？」本の最後には、そんな問いかけが待っています。子どもはもちろん、大人も楽しめる絵本です。

## ★えがないえほん



ノヴァク, B. J. /著(早川書房)  
おおとも たけし/訳

まじめな本にみえますがまったくバカげていて、ふざけた本です。“書かれている言葉を、声に出して読むこと”。このシンプルなルールで子どもは大喜び！本が大好きになる！！親子のかけ合いが楽しめる、全米70万部突破した画期的な読み聞かせの本です。

★朝日振興センターでは本のリクエストを随時受付しています。読んでみたい本があれば、ぜひリクエストしてください。

## ムクドリ (学名: *Spodiopsar cineraceus*)

[スズメ目 ムクドリ科]



▲雪どけの草地に集うムクドリ



▲電線に並ぶつがいのムクドリ(上メス、下オス)

ムクドリは、全国に分布し、多くの地域では一年中見られる鳥です。只見町では、春から秋にかけては頻りに目にする鳥ですが、晩秋になるとほとんど見かけなくなります。どこに移動するのか正確にはわかりませんが、食べ物がとりやすい雪の少ない場所に移動しているのだと考えられます。しかし、雪が落ちてく3月上旬ころから徐々に姿を見かけることが多くなります。雪がとけて土が現れた草地や田畑では、トコトコと歩きながら土からでてきた虫などの食べ物を探しています。家々の間の電線では、つがいになったオスとメスが並んでとまっています。いずれも春の訪れを告げる風景です。

只見町の方言では、ムクドリは「げーげーどり」「ちゅーま」と言います。集落や田畑といった人がくらす平地に生息しており、奥山で見かけることはありません。自然界では木の洞などに巣を作りますが、家屋の屋根や雨戸の隙間など人工環境にもよく営巣します。6月頃には、巣立ちビナを見るようになりますが、お尻の毛が生えそろうない姿を只見町の方言では「たんぼげす」と言うそうです。私たちにとても身近な鳥です。

### 企画展

#### 「守りたい！只見の野生動植物

—只見町の野生動植物を保護する条例—

期 間:6月25日(月)まで

場 所:ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

### ブナセンター講座

#### 「野生動植物を守るために—生物多様性保全の科学と社会学」

日 時:3月31日(土) 13:30~15:30

場 所:ただみ・ブナと川のミュージアム セミナー室

講 師:黒沢高秀氏(福島大学共生システム理工学類・教授)

### 自然観察会

#### 「冬のブナ林と動物たち」※要事前申込

期 間:3月18日(日) 10:00~12:00(9:30集合)

場 所:ただみ観察の森「下福井のブナ水源林」

※詳しくは3月2日発行の「おしらせばん」

またはブナセンターホームページをご覧ください。

詳しくは、  
只見町ブナセンター  
までお問い合わせ  
ください